



ひろせホームからもらうもの

この10年、児童相談所では若い職員が採用され、私の子どもより若い人たちが年々増えています。

若い職員にはできるだけ施設に足を運んでもらい、施設の現状や子どもたちの生活ぶりをその目で見てもらうようにしています。

でも、県内には乳児院は5ヶ所、児童養護施設にいたっては17ヶ所もあります。一人の職員が一年でどれだけの施設をみる事ができるか、しかも支援の中身にまで密に触れられるかは、はなはだ疑問です。若い職員の中には、ひろせホームを知らない、見たこともないという人が少しずつ増えています。あの目立つ看板のひろせホームで

みんなでご飯を食べたり、おしゃべりしたり、わいわいしたり、廣瀬お父さんとお母さんが子どもたちを抱っこしたり、おんぶしたり、冗談を言ったり、笑ったり、泣いたり、甘えたり・・・お邪魔するたびに、若い職員を連れてきたいと思ってしまいます。

ひろせホームには、子ども好きの普通の人が里親を続ける中で、子どもにとって大切な暮らしを求め、小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）を苦労しながら作り上げてきた歴史があります。それは汗と涙と鼻水がたくさん流され、いろいろなところにたくさん足を運び、たくさん声をあげた歴史。ここでは、理屈抜きに、今まさに営まれている歴史

を肌で感じることができます。ひろせホームのパワーにガンと揺さぶられ、もみくちゃにされ、おなかいっぱいになって、感じたことを栄養にできる、そんな機会が得られた職員はとてもラッキーだと思います。

千葉県中央児童相談所長 竹下 利枝子



『オレンジの会』設立のお知らせ

このたび、南房総地区の里親家庭支援を目的にした「オレンジの会・子ども家庭サポートセンターちば」というNPO法人を設立することになり、現在準備中です。中心となるメンバーは、児童相談所OB、施設職員、市町村職員、児童相談所職員等で、里親と里親会と児童相談所のパイプ役をイメージしています。

里親家庭を訪問してお話を伺ったり、電話で相談を受けたりなどの基本的な支援活動のほか、里親一人一人のかゆいところに手が届くような、きめ細やかなお手伝いをしていきたいと考えています。

今年度は、会の活動の中心となる「里親支援ソーシャルワーカー」

の育成講座を開講する予定です。この講座は、里親さんの研修も兼ねていて、里親さんとワーカーとの交流も目的にしています。講座の募集対象者は、児相OB、施設職員、市町村職員、ベテラン里親さん等です。

将来的には、里親支援ソーシャルワーカーを中心として、里親家庭での子育てを地域でサポートしていくネットワークができればと思っています。

「オレンジの会・子ども家庭サポートセンターちば」
設立準備委員会 委員長 清水 秀郎（元児童相談所）

子どもたちと共に歩いた道のり

児童福祉に関わりを持たれていた多くの方々、戦後の動乱に子どもたちの救済を真剣に考えていた方々にとっても、児童福祉制度が平成20年11月に新たな制度になり、平成21年4月1日から多人数養育（ファミリーホーム）も制度化されたのは喜ばしいことだと思います。

我が身も多少なりと携わっただけに、私も感無量の思いですが、それも光陰矢のごとしとの諺があります、年齢と共に月日の経つのが早く感じられ、其々の子どもたちの成長に眩しさを感じ



ながら、多人数養育をしてきた、我がホームも今年で8年の歳月が経ちました。

ここに至るまでには、子どもたちにとっても、私たち養育者にとっても、忘れられない大切な方々のお見送りがありました。里親と、関わってきた数え切れないほどの子どもたちの過程、そこには、どのように云っても云いつくせない思いが積もってまいりました、積み、過ぎというべきでしょうか。

私自身も、子ども達と共に色々な出来事に対して対峙順番待ちをしながら、今まで貢献した方々の思いにどこまで応えられるか、そしてどの様な形で次の世代に引き継がれるかを考えると、今現代の日本の親子のあり方に、「家族」の形に、疑問が拭きません。

養育を必要とする子どもたちが此処にいる限り、我がホームはたった年一回のホーム通信のPRでは何も変わりはないと思いつつも、今年も心ある職員の手を煩わせて発行に至りました。

現実には保護を必要とする子どもたちがいることを、少しでも知って頂きたい思いからホームページも立ち上げました。その人なりに出来ることから、その人なりの精一杯の思いを形にできれば、他人事と見過ごしては行かないのではと思うのです。

子どもたちは何も分からず大人社会の引かれたレールの上を走り続けています、子どもたちが本当の自分に気がついた時には、これで良かったと思えるような社会がそこにはあるのでしょうか？

ひろせホーム代表 廣瀬 タカ子

ひろせホームの1年間

4月

ホーム全員で映画に
Mちゃん小学校入学式
こども会イチゴ作り
小学校授業参観（お弁当）
Tくん、ヘルニア手術

5月

Tくん、実母のもとに帰省
幼稚園の親子ハイキング
里親会君津支部総会に参加
Tくん、ハイハイを始める。
小学校の運動会

6月

補助員さん、復帰
Mちゃん、耳鼻科健診
千葉県里親会総会
プール開きと幼稚園のバザー
Rくん誕生日、実母から手紙届く

7月

幼稚園の七夕会
小学校の宿泊学習
Tくん、実母のもとに帰省
こども5人とお父さんでプールに



小林幸様、川村直子様、竹下利枝子様
並木正子様、在原尚子様、山中ゆりか様
樋口敦子様、阿部様、高安様
伏見様（ルル美容室）、豊田様、坂本秀子様
芝山鉄之助様、熊谷様、三冷設備様
関東新聞店様、鈴木様（房総ヤクルト）
吉原工務店様、柴田様、篠崎様、降旗様
渡辺様（神奈川県）、荒様、西村様
大須賀様（サクラクアール）

皆様の善意に我が家の子ども共々深く感謝申し上げます。寄贈者名は順不同です、記載漏れがありましたら失礼を致します。
また、和田さん、ホームの会計をいつもありがとうございます。

幼い子どもを二人連れて道を歩く、それぞれの手で子どもと手を繋ぐけど、荷物もベビーカーもあって一人だどけっとうたいへんで、階段で知らない人の親切にホッとすると、いろいろな人いろいろな場所ですてえももらっていることを実感...

CCCGC.T

8月

Tくん、一歩あるく
M姉妹、実父のもとに帰省
Tくん、実母のもとに帰省
Mちゃん、発熱で通院
富士サファリパークに行く

9月

Tくん、定期健診
Tくん誕生日会&もちつき大会
ディズニーランドの夜のパレード

10月

全国里親会に参加（厚労省）
ホームページ作成の打ち合わせ
老人ホームの運動会に招待される
Hちゃん、入学前の健康診断

11月

茨城県庁職員来所
Rくん、3歳児健診を受診
お父さん、パソコン教室始める
Aちゃん、ケースカンファレンス

12月

Hちゃん、インフルエンザのため休園
年賀状の写真撮影（スタジオアリス）
ホーム全員でディズニーランドへ
もちつき（吉原氏宅にて）

1月

M姉妹、帰省から戻る
Tくん、Hちゃん誕生日会
小学校幼稚園始業式

2月

節分、ホームで豆まき
子ども会ボーリング大会
子ども安心基金工事始め
校外学習（小学校）
里親研修会（成田ビューホテル）
全員で新幹線に乗り大阪へ

3月

小学校見学会（幼稚園）
Rくん、ポリオ接種
Hちゃん、卒園式
国籍取得のため大使館に行く
子ども学習机を購入

家族の紹介



お父さん… ひげ爺さん、子たちのためのリホームに大奮闘中、けっこう楽しそう♪（年齢も考慮してね）
お母さん… 「お母さん」と呼ぶのにはものすごく抵抗がありますが新生児赤ちゃんの可愛さに一段と魅力を感じ離れがたい。また、子どもたちの行く末を案じ、奮闘した仲間の別れも言葉に云いつくせない。
Tくん… 一段とお兄さんらしくなってきたが、人には厳しく自分には優しくがモットーの思春期に入ってきた感もあり、成長したねえ～
Aちゃん… 苦しんでいた過去の経過もチョビリ解消かな？これからのほうが大事だと思うよ～（＾＾）
Mちゃん… 時には鋭い突っ込みの言葉に、それなりに納得するこの不思議な現象。妹思いからお母さんをするのも…
Hちゃん… ビカビカの1年生、一段とオネエ振りを発揮。でも、食事はひとりで食べましょね。
Rくん… 入浴中に突然の意識不明になり、家族全員が大慌て。本人は救急車に乗って大満足、みんな安心でした。
Tくん… ニコニコ笑顔がかわいいが、荒れだすと手当たり次第にモノを投げ、後片付けに家族の結束を発揮！
スタッフAさん… おめでた報告に家族全員お祝い状況。少しお腹も目立ちはじめてきたかな？
スタッフBさん… ぶじに女の子が生まれて、ホーム全体が祝賀ムードです！



ホームページを開設しました！

<http://www.another-family.jp/>

ライブノットさん、ホームページをいつも支えていただき、ありがとうございます。

